

平成30年度 北海道天売高等学校 学校評価

大項目	中項目	質問内容	H30 教職員 平均	H30 生徒 平均	H30 保護者 平均	H30 地域 平均	改善への取組	
学校経営	教育目標	【本校の教育目標】「社会や地域の期待に応え、天売でしかできない教育の実践と将来を担う人を育む。」この教育目標は、生徒の実態や、保護者・地域の求める教育の方向性と合致している。	2.67 A	2.50 A	2.80 A	2.75 A	・生徒、保護者の多様なニーズに応えられるように、地域と連携した「天売でしかできない教育」を引き続き教職員一丸となって実践していただきたい。	
		学校の教育目標を達成・具現化するため、学校全体および個々の教員が日々の教育活動に取り組んでいる。	2.78 A					
	校務分掌	学校運営の効率化及び組織の改善を図りながら、各学年や各分掌との連携が十分にとられている。	2.56 A				・分掌、学年、教科など常に連携かどれる体制を構築していただきたい。そのためには相互のコミュニケーションや報・連・相の徹底を図り分掌の枠を超えて協力体制がとれるようにして頂きたい。また、作業の進捗状況などが見える職員室となるようにして、職務を遂行することが必要と思われる。 ・異動による入れ替わりが早い学校なので、引き継ぎを徹底していただきたい。	
		職員室は気軽に相談などができる雰囲気は保たれ、教員相互のコミュニケーション・共通理解が図られている。	2.56 A					
	校内研修	月例反省会などを通じて、行事の改善や学校課題の解決に向けた意見交換が行われている。	2.56 A				・毎月行われる行事の反省を、しっかりと残しておくことが次年度への引き継ぎとなるため、月例反省会を通して様々な意見を吸収していきたい。 ・2022年からの新学習指導要領の実施に向けて校内研修や公開授業を通して、各自の授業方法の見直しや新カリキュラムの作成に向けて十分な準備をしていきたい。	
		公開授業研究及び研究協議は、各人の授業改善に効果的である。	2.89 A					
		教員としての資質を高めるため、校内研修が十分に行われている。	2.33 A					
	教育活動	教育課程の編成	学習指導要領のねらいを踏まえ、生徒の実態や地域のニーズに応えた、特色ある教育活動を展開している。	2.78 A				・現在のカリキュラムは今年度の入学生から完成年度を迎えている。毎年教育課程委員会で見直しは検討されている。 ・始業前授業や検定前講習など効果的に行えている。
			3年修業制・修学コース制に対応した効果的な教育課程を編成・実施している。	2.89 A				
特色ある教育活動		水産実習・水産クラブ研究を実施している教科「水産」や、土曜授業「天売学」は本校の特色として魅力の一つになっている。	3.00 A	2.63 A	3.00 A	2.77 A	・「天売学」は、総合的な探求の時間の趣旨を生かした内容となっており、3年間で1サイクル学べるように計画している。今後も12月に行われるプレゼンテーションに向けて様々な授業を計画していきたい。	
		「総合的な学習の時間」では、和太鼓を始めとする学校祭に向けた活動や生活体験発表、花植えボランティアなどを行っているが、これらの活動内容・活動時間は適切である。	3.00 A	2.75 A	2.80 A	2.69 A		
教科指導		基礎・基本の確実な定着を図り、確かな学力を身に付けさせるために、個に応じた指導の工夫など、教材研究や授業の工夫・改善に努めている。	2.67 A		2.70 A		・授業力改善に向けて、小中高の3校連の研究会を通して授業交流などを行っている。また、年2回の公開授業週間では、小中学校の先生方だけではなく、地域住民の方々にも授業を参観してもらっている。その後行われる授業研究会でも活発な研修会となっている。	
	ガイダンスの実施やシラバスを活用するなどして、学習の目的や、学習方法および評価の方法などを生徒に説明している。	2.67 A						
	日々の授業では、生徒の興味・関心を喚起することに努め、学ぶ喜びを実感できる生徒を育成している。	2.67 A						

大項目	中項目	質問内容	H30 教職員 平均	H30 生徒 平均	H30 保護者 平均	H30 地域 平均	改善への取組
教育 活 動	進路指導	進路指導体制を整備し、生徒に望ましい勤労観や職業観、将来を展望する力などを身に付けさせている。	2.33 A				・本校では学年毎の生徒数が少人数であり、生徒構成に進路に対する指導方向が影響を受けやすい。次年度初めに生徒の多様な進路希望に対応できる進路シラバスを作成し、教員や生徒の構成に関わらず、効果的な指導ができる方策を提示する。
		進路実現に関わる情報や資料を収集し、適切な情報提供や資格・検定の取得へ向けた講習など、生徒の進路実現のための支援を行っている。	2.78 A	3.00 A	2.70 A		
	特別活動	生徒会活動や学校行事においては、生徒の自主性を尊重しながら、社会性やコミュニケーション能力を養い、天売高校生としての自覚や連帯感を育てている。	2.78 A	2.63 A	2.90 A	2.92 A	・生徒会活動や学校行事については、企画から運営まで主体的な生徒の活動を行うことができた。学校祭では島民の協力により盛況に開催することができた。次年度においても生徒が主体的に活動できるよう企画段階から運営までできるよう指導していく。 ・体育協会の行事では当日の大会運営の補助などを積極的に行うことで地域貢献に努めていた。 ・部活動においては学業や仕事との両立、高校からの競技開始など多くのハンデがあるにも関わらず、全生徒が全道大会へ参加することができた。
		本校生徒会は、地域と一体となった、島民が楽しめる学校祭を創り上げようと例年企画しているが、そうした思いは十分表れている。	2.89 A		2.70 A	2.83 A	
		本校生徒は体育協会行事の運営などのボランティア活動を行っているが、実施回数や内容は現行のままで十分である。	2.89 A	3.00 A	2.70 A	2.83 A	
		部活動においては、豊かな人間性の育成を目指し、仕事および学業との両立が可能な部活動の計画・運営・指導が行われている。	2.89 A	2.88 A			
		生徒会行事の意味やねらいは全教員に周知され、各教員は意味やねらいを理解して生徒の活動に関わっている。	2.78 A				
	生徒指導	小規模校の特性を生かして生徒理解に努め、生徒一人ひとりの個性の伸長を図るとともに、自己の在り方生き方を深めさせるような指導が行われている。	2.89 A				・年3回の教育相談、臨床心理士による個人面談の実施。下宿や寮訪問や職場訪問も年2回地域の方々の協力のもと実施することで生徒理解に努めた。 ・頭髪、服装指導については年々落ち着きがみられた。島内活動だけでなく島外活動においても高校生としてふさわしい身だしなみの指導を徹底していく。
		高校生としてふさわしい礼儀や態度(挨拶・頭髪・服装など)を身に付けさせるべく、日々の学校生活を通して指導が行われている。	2.67 A	2.63 A	2.50 A	2.58 A	
		交通事故などの多様なトラブルから生徒の安全を守るため、家庭・地域社会との連携を深めている。	2.89 A		2.80 A	2.64 A	
	生徒指導	日常の授業や学校行事をとおして、生徒に生命の大切さを理解させることができている。	2.67 A				・天売高校の生徒の実態に合わせた指導を実施している。PTAや地域の方々のご協力をいただきながら「学校いじめ防止基本指針」のもとでいじめのないように指導をしていく。
		学校におけるいじめへの対処方針や取組について、保護者や地域と共有し、理解や協力を得ている。	3.00 A				
		日頃より、いじめの実態把握に努め、それらの状況を学校組織として共有できている。	3.00 A	2.88 A	2.50 A	2.60 A	

大項目	中項目	質問内容	H30 教職員 平均	H30 生徒 平均	H30 保護者 平均	H30 地域 平均	改善への取組
教育環境	学校の整備	個人情報データの入ったHDDやUSB等の記録媒体を校外に持ち出さないなど、個人情報の取扱いに関するルールが周知されており、管理を徹底している。	2.78 A				<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いについては十分に注意されているが、校務で使っているPCのスペックが低かったり、スムーズな処理ができないなどで私物のPCを使う場面も多く、それが一番心配である。 ・視聴覚機器の紛失がないよう、貸し出し簿を作成し、管理をしっかり行いたい。 ・年2回行われる読書週間を通して生徒の読書に対する興味関心は高まっているものと思われます。
		視聴覚機器や情報機器の整備がなされており、行事や授業で活用できるようになっている。	2.11 B				
		生徒・教職員それぞれが校舎を大切に、校内の美化や清潔な環境づくりに努めている。	3.00 A	2.88 A			
		生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を推進するため、学校図書が適切に整備されている。	2.78 A	2.75 A			
地域に開かれた環境づくり	地域の生涯学習	学校開放講座や一部科目履修制の実施など、地域の生涯学習センター的機能を十分果たしている。	3.00 A		3.00 A	2.83 A	<ul style="list-style-type: none"> ・本校が実施している学校開放講座や一部科目履修については着実に地域に理解され、根付いていることが評価数値からも感じられる。今後も魅力ある講座を開設していきたい。
		年に数回の学校開放講座を実施しているが、実施時期や回数、講座内容は適切である。	3.00 A		2.80 A	2.67 A	
	地域住民との連携	小中学校や島内関係諸機関と連携し、教育活動の実践や交流が十分行われている。	2.78 A		2.60 A	2.85 A	<ul style="list-style-type: none"> ・島民大運動会をはじめとして小中高の連携は十分とれている。また、三校連の研究会を通して教科指導力の向上に努めている。 ・情報発信に関しては、ホームページの更新を定期的に行い、保護者、地域だけでなく本校受検者へも本校への理解が得られるような活動を行っている。
		学校通信の発送および町内回覧や、WEB、新聞報道などを通して、学校の教育方針や教育活動の情報発信に努めているが、情報発信の方法や内容は適切である。	2.78 A		2.70 A	2.75 A	

評価基準

A	B	C	D
そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
3	2	1	0
3～ 2.25	2.24～ 1.5	1.49～ 0.75	0.74～ 0.0